

2022年7月26日

薩摩川内市

学校法人早稲田大学

株式会社ナカダイホールディングス

九州電力株式会社

株式会社 鹿児島銀行

## 持続可能な社会の構築に向けた資源循環の拠点 「サーキュラーパーク九州」（川内発電所跡地活用）の実現に向けた連携協定について

薩摩川内市（市長 田中 良二）、学校法人早稲田大学（理事長 田中 愛治）、株式会社ナカダイホールディングス（代表取締役 中台 澄之）、九州電力株式会社（代表取締役社長執行役員 池辺 和弘）および株式会社鹿児島銀行（取締役頭取 松山 澄寛）の5者は、九州電力株式会社が所有する川内発電所跡地（2022年4月廃止：鹿児島県薩摩川内市港町）を循環経済（サーキュラーエコノミー）と脱炭素化の推進による持続可能な社会の構築に向けた資源循環の拠点「サーキュラーパーク九州」と位置づけ、5者が連携して具体的な検討を推進するため、本日、協定書を締結いたしましたのでお知らせします。

### 記

#### 1. 締結日

2022年7月26日（火）

#### 2. 目的

循環経済（サーキュラーエコノミー）と脱炭素化の推進による持続可能な社会の構築に向けた資源循環の拠点「サーキュラーパーク九州」の実現に向けて、5者が相互に連携すること。

#### 3. 連携事項

- (1) 資源循環による資源の有効活用や環境負荷低減などに関すること
- (2) 資源循環に係る研究開発に関すること
- (3) 地域の脱炭素化や循環型社会の実現に向けた実証実験に関すること
- (4) その他、持続可能な社会の実現に向けた取り組みや地域の活性化などに関すること

#### 4. 協定締結者の主な役割など

協定締結者5者は、持続可能な社会の構築に向けて産官学の協働により、具体的な検討を推進していきます。

	<p><b>具体的な検討に対する全体的な支援</b></p> <p>薩摩川内市は、サーキュラーパーク九州が立地する自治体として、資源循環に資する地域の参画を要する各種実証実験や設備設置の許認可手続時の関係機関調整への協力など、事業環境の整備における支援を行います。また、「川内港久見崎みらいゾーン産業立地ビジョン」(2020年10月策定)、「SDGs・カーボンニュートラルに関する包括連携協定」(2021年9月九州電力と締結)および「川内発電所の跡地活用に関する基本協定書」(2022年2月九州電力と締結)に基づき、同エリアにおける循環経済の実現に向けた牽引役を担います。</p>
 <p>WASEDA University 早稲田大学</p>	<p><b>地域課題解決に向けた研究開発スキームなどの検討</b></p> <p>早稲田大学は「WASEDA Carbon Net Zero Challenge 2030s」を宣言し、ロードマップに従って、「最先端研究」「人材育成」「キャンパスのカーボンニュートラル達成」それぞれの分野でカーボンニュートラルの実現に取り組みます。サーキュラーパーク九州では、学術研究教育の振興および研究教育成果の社会還元への観点から、資源循環に関する先進的な研究に加え、社会学分野の研究も含め、資源循環の実現に向けた幅広い研究開発の検討を行います。</p>
	<p><b>廃棄物リサイクルの事業化検討、資源循環スキームの検討</b></p> <p>ナカダイホールディングスは、総合リサイクル業としてリサイクル率99%を実現するナカダイと、そこで培ったノウハウを活かし、循環ビジネスの構築から、廃棄物のリユース、リサイクルに向けたコンサルティングを行うモノファクトリーをグループとする循環社会をビジネスで実現する会社です。サーキュラーパーク九州では、既存のリサイクル工場に加え、循環資源を動脈産業につなげる研究開発や地域の脱炭素化に資するコンサルティングなど、これまでにない動静脈産業の連携に挑戦していきます。</p>
	<p><b>サーキュラーパーク九州の全体総括</b></p> <p>九州電力は、2021年4月に策定した「九電グループカーボンニュートラルビジョン2050」および同年11月に策定した「九電グループカーボンニュートラルの実現に向けたアクションプラン」のもと電源の低・脱炭素化と電化の推進に挑戦し続け、九州から日本の脱炭素をリードする企業グループを目指しています。サーキュラーパーク九州を、九州のエネルギーを支えてきた火力発電所跡地にて循環経済・脱炭素化に取り組む挑戦の場と位置づけ、地場企業として地域経済の発展と社会課題解決の両面で貢献していきます。</p>
	<p><b>地域総合金融機関として、地域ネットワークを活用した地域課題の抽出、人・企業のコーディネートによる課題解決の推進の検討</b></p> <p>鹿児島銀行は、SDGs取組方針「サステナビリティ全体構想」に掲げる「環境にやさしい地域づくり」に基づき、脱炭素社会の実現に向け、CO<sub>2</sub>排出量削減目標やESG投融资目標を設定し、再生可能エネルギー関連融資や地域の環境保全活動などに積極的に取り組んでいます。資源循環に資する地域の課題を抽出し、当行が持つ地域ネットワークを活かし、人・企業とサーキュラーパーク九州をつなぐことで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。</p>

## 5. 対応するSDGs



- 目標 6. 資源循環による水不足、水質向上の推進
- 目標 7. 再生可能エネルギーの導入拡大の推進
- 目標 8. 雇用創出を通じた地域活性化への取り組み
- 目標 11. 持続可能なまちづくりを目指した取り組み
- 目標 12. 廃棄物の削減・再利用の推進による環境負荷の低減
- 目標 13. 気候変動の緩和、適応、影響軽減に向けた対応の推進
- 目標 17. お客さま・企業・社会などさまざまなパートナーシップを通じ、目標を達成

以上

### 【本件に関するお問い合わせ先】

鹿児島銀行 地域支援部 経営コンサルティング室

TEL : 099-248-8780 (ダイヤルイン)